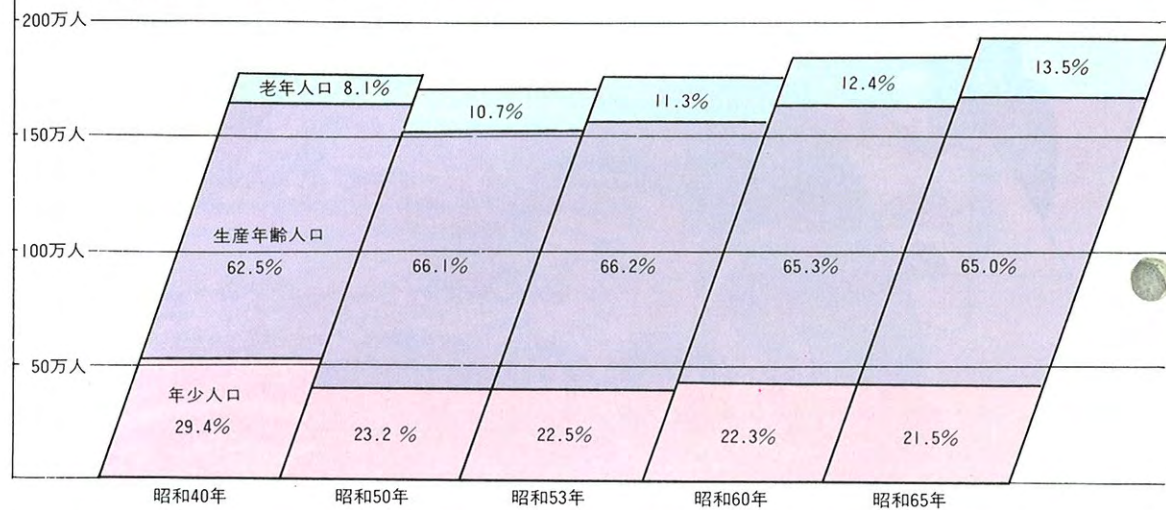


熊本県の将来のすがた

●人口

総人口と年齢三区分別人口の見通し

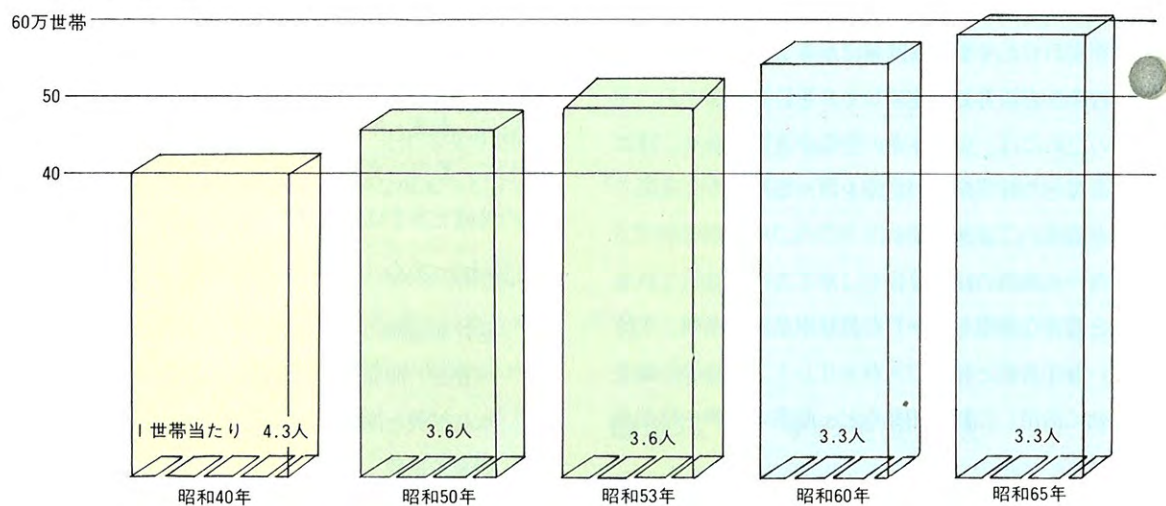


人口増加の傾向は持続され、昭和65年には、193万人になると見込まれます。また、人口の高齢化は進行し、昭和65年には、総人口に占める65歳以上の人口の割合が13.5%に達すると想定されます。

年少人口：0～14歳
生産年齢人口：15～64歳
老年人口：65歳以上

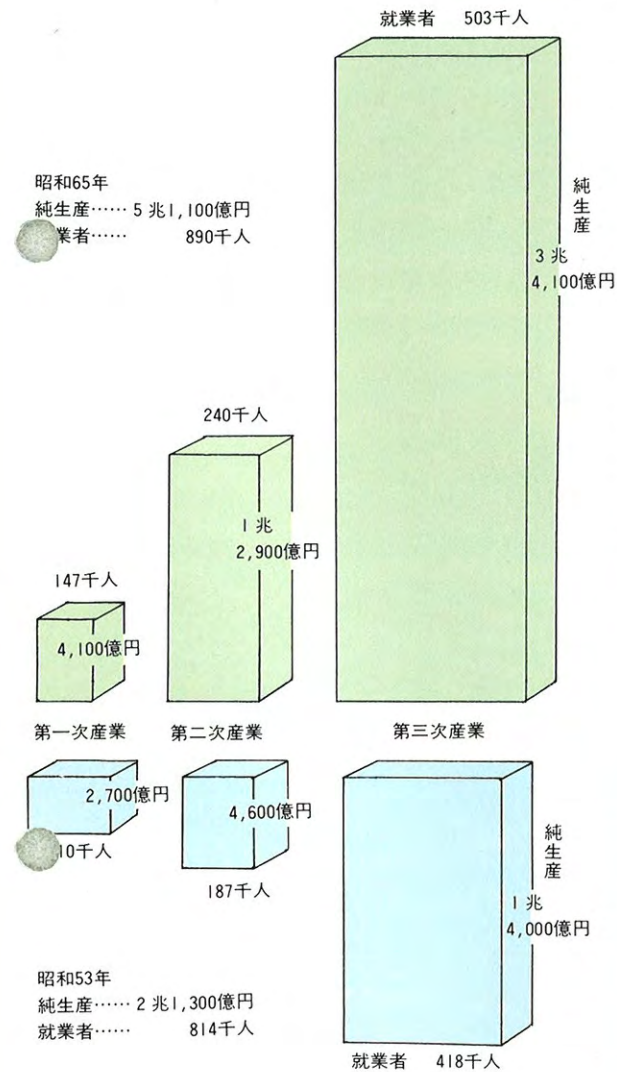
●世帯数

世帯数の見通し



核家族化等が進み、昭和65年には、1世帯あたり人員は3.2人となり、普通世帯数は58万世帯になるものと予想されます。

●就業者と純生産

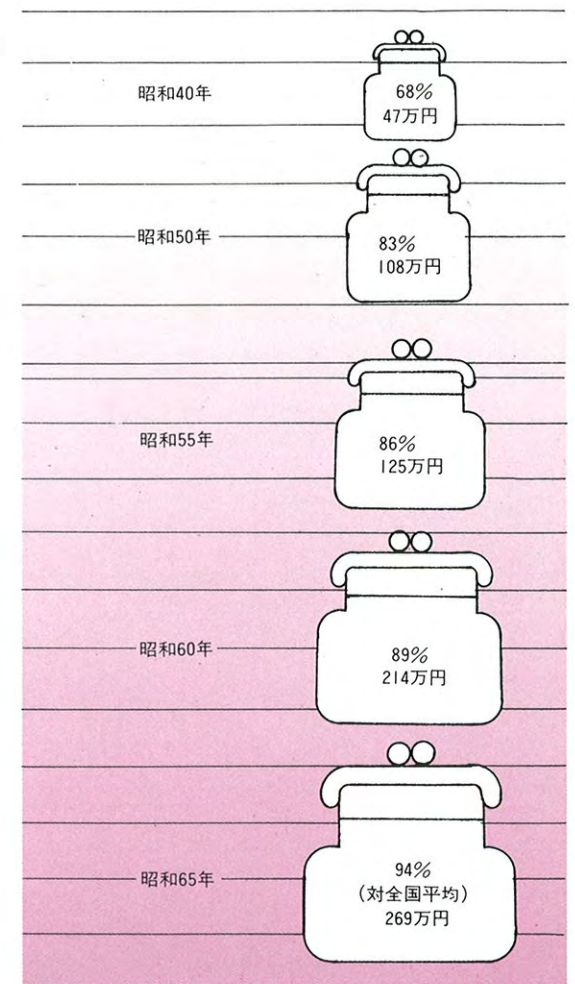


就業者総数は、昭和65年には89万人に達し、第2次、第3次就業者の割合が高くなると見込まれます。また、純生産は、昭和65年には5兆1100億円(昭和53年価格表示)となり、特に、第2次産業の割合が高くなると想定されます。

●経済成長率

本県経済は、各産業の活発な生産活動に支えられて今後も成長を続け、昭和50年から65年にかけて、県内総支出の伸び率(経済成長率)は、年率で7.0%を示し、県内総支出は、昭和65年には5兆6,880億円(昭和53年価格表示)に達するものと見込まれます。

●1人当たり県民所得



1人当たり県民所得は、昭和65年には、269万円(昭和53年価格表示)となり、全国平均の94%の水準に上昇すると想定されます。